

令和4年度 海外大学とのオンライン交流事業

# 「インフルエンサー」の コンテンツの 「過剰消費」に警戒を

詳しくはこちら：

[https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippannokata/  
kurashi/shohiseikatsu/7213729/](https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippannokata/kurashi/shohiseikatsu/7213729/)



メーファールアン大学

# 目次

---

- 01 — タイにおけるデジタル時代
- 02 — マーケティングの新たな形
- 03 — インフルエンサー
- 04 — 過剰消費
- 05 — 主な課題
  - 1) 食品廃棄物
  - 2) ファストファッション
  - 3) E-waste（電子機器廃棄物）

# 01 タイにおける デジタル時代

現在、人々はソーシャルメディアを多目的に利用しています。立ち上げられるコンテンツは、それぞれの興味に応じて多様化しています。しかし、人々はソーシャルメディア上で現在人気があるか、またはバイラルであるものを消費し、フォローする傾向があります。トレンドは常に変化しているにもかかわらず、人々は、あらゆるソーシャルメディア上でオンライン購入をサポートするアプリケーションやワンストップサービスを通じて、物質主義の購入や消費の面でますます影響を受け、適応していく傾向があります。

# 02 マーケティングの 新たな形

ソーシャルメディアを利用した広告、検索エンジン最適化（SEO）。TwitterやInstagramなどでアフィリエイトリンクを貼ることで収益を求め、ソーシャルメディアのインフルエンサーがそのプラットフォーム上でより多くのエンゲージメントを獲得することができます。このようなマーケティングは、社会全体で成功しています。

# 03 インフルエンサー

SEO(検索エンジン最適化)やインフルエンサーによるTwitterやInstagramでのアフィリエイトリンクの掲載など、ソーシャルメディアを活用した広告は、企業のエンゲージメントを高めるのに役立つと考えられます。このようなマーケティングは、社会全体で成功するようになりました。インフルエンサーを活用したマーケティングは、あらゆるビジネスシーンで活用されています。

# 04 過剰消費

新発売の製品やトレンドの製品は、次のページにあるような理由で過剰消費につながりません。

# 食品廃棄物

原因は？



## フードスタグラム

インスタグラムに投稿するために、必要以上に料理を注文しがちなトレンド



## ビュッフェ

ビュッフェレストランでの食べ残しによる大量の食品廃棄物



## フードデリバリー

パンデミックにより、フードデリバリー業界の成長加速と増加により、食品廃棄物や食品包装材の廃棄が増加

## 食品ロスによる環境負荷

埋立処分される生ごみは、地球温暖化や気候変動の原因となるCO2よりも強力な温室効果ガスであるメタンを大量に発生させます。

# ソリューション

解決策は？

01

本当の必要量に比例した量を消費する。

02

住んでいる地域の自治体が定めた場所に捨てるか、家庭で有機肥料を設置する。

03

食品廃棄物を減らすために、近所の食料品店や食品宅配アプリで割引食品を購入する。

“環境に配慮を  
責任ある行動を”

# ファストファッション

---

トレンドの移り変わりが早いいため、インフルエンサーは視聴者に安価で流行の服を紹介することで、人々が服をすぐに捨ててしまうような文化を効果的に作り出してしまっています。ファッション業界は急速に変化しており、生産速度が速い一方で、衣服はすぐに着られなくなり、温室効果ガスの排出や水質汚染といった深刻な環境問題につながります。

- 温室効果ガスの排出

ファッション業界とそのサプライチェーンは、世界第3位の環境汚染企業であり、[温室効果ガス排出量の10%](#)を占めています。温室効果ガスの排出は、素材の生産から加工、輸送、出荷に至るまで、製品供給のあらゆる過程で発生されます。

- 水質汚染

ファストファッション産業は大量の水を使用し、合成素材から放出されるマイクロプラスチックの有害物質が海洋に流入したり、洗濯機の水や繊維の生産に使われる過剰な水によって、環境に悪影響を与えることが判明しています。



写真提供: Jean-Pierre Dalbera

“ファッションは  
世界第3位の  
産業汚染者”

# ソリューション

ファストファッションが環境に与える悪影響を減らすには？



## 01. 購入量の削減

ファストファッションの服を買い控え、時代に左右されない服に投資する。



## 02. 品質

質の良い衣服は、私たちの衣服をより長く保つことを可能にします。



## 03. 修理

破れた衣服は、捨てる前に修理するようにしましょう。



## 04. 中古品の購入

古着を購入することで、二酸化炭素排出量を削減でき、お金の節約にもなります。



## 05. レンタル

特別な日のための洋服や、あまり着ない洋服をレンタルする。

# E-WASTE (電子機器廃棄物)

---

インフルエンサーの中には、人々のライフスタイルに役立つ新登場のテクノロジーガジェットを宣伝する人もいますし、古いものがまだ使えても新しいものを購入するという流れもあります。

しかし、ソーシャルメディア上で宣伝されている電子機器の中には、品質が低く、寿命が短いものもあり、さまざまな環境負荷が発生しています。例えば：

01

## 大気汚染

電子機器廃棄物を不適切に処理した場合、有害な化学物質が大気中に放出されます。

02

## 土壌汚染

電子機器廃棄物が投棄された場所では、有害物質が地下水に浸入し、陸上および海洋生物に影響を与えます。

# ソリューション

## 01 電子機器の寿命

---

寿命が切るまで長く使用する。

## 02 デバイスを修理する

---

まだ使用できるものは修理する。

## 03 適切な場所に捨てる

---

破損したデバイスや使用しなくなったデバイスは、サービスを提供している百貨店内の家電量販店のような場所（モールグループ、セントラルグループ、AISショップなど）にて適切な方法で廃棄する。

## 04 省エネラベル

---

高範囲エネルギー効率ラベル、消費電力レベルを知らせるラベル、および電気器具の標準的な説明がある機器を使用する。